

# 令和4年 第2回 武豊町教育委員会 会議録

開催日 令和4年2月10日(木)

場 所 武豊町役場 全員協議会室

出席委員の氏名

教 育 長	加藤 雅也			
教育長職務代理者	小藤 省吾	委	員	永田 淑子
委 員	堤田 綾子	委	員	久田 徳彦

出席職員の氏名

教 育 部 長	糸山 英巳	学 校 教 育 課 長	森田 良孝
生涯教育課長	伊藤誠一郎	ス ポ ー ツ 課 長	田中 孝往
町民会館事務長	藤井 信介	歴 史 民 俗 資 料 館 長	神谷 芳美
中央公民館長	石田 修	生涯学習課課長補佐	西川 正洋
町民会館事務長補佐	栗田 宗広	ス ポ ー ツ 課 課 長 補 佐	横田 覚
給食センター所長	青木 隆	学 校 教 育 課 課 長 補 佐	藤井 千絵
学校教育指導主事	稲垣 勉	学 校 教 育 指 導 主 事	岩田 圭司

：欠席者

## 1. 開会 午前9時00分

## 2. 開会宣言並びに第1回定例会 会議録の承認

(教育長) 出席委員3名を確認し、会議の成立及び第2回定例会の開会を宣言する。

(教育部長) 次に前回の会議録のご承認をお願いします。会議録につきましては事前にお渡ししておりますので、すでにご確認いただいていると思います。この会議録について、ご意見、ご質問等あればお願いします。

《意見なし》

(教育部長) 特にご意見等もないようですので、前回の会議録は承認とします。会議録への署名と押印は、この会議が終わりましたら、担当がお願いに行きますので、よろしくお願いします。

(教育部長) それでは教育長報告をお願いします。

## 3. 教育長報告

1/13 ・定例教育委員会(地域交流セ)、プール内覧

・知多地方保健主事研修会(町民会館)

1/16 ・文化財防火訓練(教福寺)

1/19 ・地教委2次面談(アイプラザ半田)

・厄歳寄附(酉戌会)

1/24 ・定例校長会

- 1/25 ・学校運営研究会
- 1/26 ・知多東校長面談(町民会館)
- 1/28 ・表敬訪問(湿地を守る会:愛知県地域づくり活動表彰)
- 1/29 ・TAKE TO YOU(町民会館)
- 2/2 ・三菱 UFJ 寄附→中学校図書寄附  
・給食配送車(EV車)納車式
- 2/3 ・教育実践発表会(リモート)
- 2/4 ・図書館協議会→書面会議
- 2/5 ・はやぶさ2 講演会 津田雄一 氏(リモート)
- 2/6 ・もうひとつの「はやぶさ」ミッション 映画と講演会 上坂 浩光 氏
- 2/7 ・市長村教育長研修会(書面会議)
- 2/10 ・定例教育委員会、総合教育会議

(教育部長) 議事進行を教育長にお願いします。

#### 4. 議 事

議案第3号「令和3年3月補正予算(案)について」

(教育長) それでは、議案第3号「令和3年3月補正予算(案)について」事務局の説明をお願いします。

(学校教育課長) 資料1の説明

今回の補正については、すべて減額補正となっております。主な理由としては、コロナ禍の影響を受けて予定していた事業が中止となったためであります。

(給食センター所長) 資料1の説明

光熱水費について、ガス及び水道使用量が見込みより大幅に増加したため増額補正となっております。

(生涯学習課課長補佐) 資料1の説明

ふるさと祭りの中止にともなう減額補正となっております。

(町民会館補佐) 資料1の説明

主に行事の中止等にともなう減額補正となっております。

(スポーツ課課長補佐) 資料1の説明

主に行事の中止等にともなう減額補正となっております。

(教育長) 議案第3号につきまして、質問はありませんか。

(教育長) それでは、議案第3号について、承認される方は挙手をお願いします。

<全員挙手>

(教育長) 本案を承認可決することといたします。

議案第4号 令和4年度武豊町いじめ防止基本方針(案)について

(教育長) それでは、議案第4号「令和4年度武豊町いじめ防止基本方針(案)について」事務局の説明をお願いします。

(指導主事) 資料2の説明

国や県の通知を受けて、本町のいじめ防止基本方針を再度見直し、方針の強化を図るためのものであります。令和3年度は、「学校評価等に基づいて学校いじめ防止基本方針の見直しを図ること」「児童生徒または保護者にいじめ等の相談窓口の紹介を行うこと」を強調しました。令和4年度案は、「いじめの積極的な認知に努め、早期発見・早期対応(組織的対応)につなげること」を強調しております。

(教育長) 議案第4号につきまして、質問はありませんか。

(教育委員) ネットなどSNSによるいじめが増えていると聞いています。そのような学校外でのいじめについても認知できるような具体的な手だてを考えていただけるとありがたいです。

(指導主事) 学校外でのいじめにつきましても、学校・保護者と連携をし、児童生徒の細かな変化を見逃さないようにしていきたいと考えます。

(教育長) では、他にご意見・ご質問がないということで、この議案について承認される方は挙手をお願いします。

<全員挙手>

(教育長) 本案を承認可決することといたします。  
議事が終わりましたので、司会をお返します。

## 5. 報告事項

(教育部長) ありがとうございます。それでは、続いて報告事項をお願いします。

(1)令和4年度 教育委員会事務局各課等別事業別予算について

(学校教育課長) 資料3の説明

①学校教育課

- ・いじめ不登校対策費(スクールソーシャルワーカー)
- ・体育館、特別教室空調設備設計委託業務、LED化
- ・町内小中学校改修工事 他

②給食センター

- ・配送車賃借料 他

(生涯学習課長) 資料3の説明

③生涯学習課(④図書館 ⑤中央公民館 ⑥歴史民俗資料館)

- ・ふるさとまつり
- ・館内照明器具LED化
- ・公民館まつり 他

(町民会館事務長) 資料3の説明

⑦町民会館

- ・文化祭、芸能祭等の催しもの予算
- ・響きホールの天井改修予算 他

(スポーツ課長) 資料3の説明

⑧スポーツ課

- ・体育施設指定管理料
- ・屋内温水プール指定管理委託料 他

(2)教育委員会表彰既定の改定について

(指導主事) 資料4について説明

(3)学校の近況について

(指導主事) ①最近の動向 ②学校の近況 ③令和4年度学校訪問の日程について 等

(4)当面する行事予定について

(指導主事) 資料5(2月～5月)について説明

(5)生涯学習基本構想について

(生涯学習課長) 口頭にて説明

6. その他

(1)町民会館より

- ・事業報告及び予定

(町民会館事務長補佐) 当日配付資料の説明

ゆめプラ通信(2～3月のイベント情報)

## (2)スポーツ課より

(スポーツ課課長補佐) 総合体育館 天井等改修工事計画について

総合体育館の建築非構造部材の耐震対策として、令和4年度から令和6年度までの3か年で天井等の改修工事を実施する予定です。令和4年度はエントランスの工事を予定しており、令和5年度に第2競技場(サブアリーナ)、令和6年度に第1競技場(メインアリーナ)の工事を実施する予定です。令和4年度のエントランスの工事は、貸館を継続しながらの施工となる予定ですが、令和5年度及び6年度につきましては、工事期間中は、それぞれの競技場が使用できない状況となる予定です。

(教育部長) 最後に、教育委員より一言お願いいたします。

(教育委員) 町民会館における「はやぶさ2」の催しものが、多くの皆様の協力により、成功したことに感謝をいたします。

さて、1月に町内小学校が臨時休業をしました。難しい決断だったかと思いますが、私は正しい判断と考えます。危機管理の鉄則として、「悲観的に計画し、楽観的に行動する」という言葉があります。言い換えれば、「最悪の事態を想定し、事が起これば冷静に臨む」ということです。

オミクロン株の感染力は従来よりも高く、子どもにも感染しやすいと言われていいます。そのため、感染者も気づかないうちに感染を広めてしまう可能性があります。対応が後手に回ると、感染が広まり、収拾がつかなくなる恐れがあります。そして、人々の不安や不満も高まります。

休業を行うことによって、いろいろな意見があったかと思いますが、また、この休業を行った結果と、行わなかったときの結果の違いを検証することは難しいですが、子どもの安全を守る学校の役割としては正しい判断と考えます。

(教育委員) 今回の新型コロナウイルス感染症の影響で、大人や子どもが休むことができる社会システムが構築されつつあると感じています。「風邪は、万病の元」と言います。何事にも用心をして対処していくことが大切と考えます。

さて、電車内である大人を注意した高校生が暴行されるという痛ましい事件が起きました。このとき、周りの人たちは、どのような行動をとったのでしょうか。誰かが困っていたら見て見ぬふりをするのではなく、「どうしたの」など大きな声を上げて助ける「勇気」をもてるとよいでしょう。

年度末を迎え、学校では評価をしていく時期にあると思います。評価は子どもの成長につなげるものと考えます。「否定」の評価ではなく、成長につながる「肯定的」な評価、そして「正しい」評価をすることが大切と考えます。

児童生徒から、「自分を分かってくれない」「限界」などという相談があった場合は、「なぜ」「どうして」と理由や因果関係などを聞くことは好ましくありません。臨床心理士によれば、「つらいね」などの本人に寄り添う言葉を投げかけることが大切とのこと。学校の先生方も、年度末や年度変わりには、特に子どもの様子に

注意をしながら、これまで同様に子どもに寄り添う気持ちを大切にいただければと思います。

**(教育委員)** 先日、ある学校を訪れたときに、「コロナにより生活が一変した。コロナに打ち勝つために、学校を明るい『プラスのことば』で満たしたい」という子どもの言葉を目にしました。学校の先生方が様々なことに対処し、子どもと向き合っているからこそ、このような前向きな言葉が表れていると考えます。

その一方で、前半部分の「コロナで生活が一変した」という言葉に深く考えさせられました。大人が考えているよりも、子どもが抱えているコロナ禍の影響は深いのではないのでしょうか。ある研究では、子どもには、コロナ禍による直接的なストレスに加えて、親が受けたストレスも間接的にかかると言われていています。子どもにかかるストレスは、とても大きいものでしょう。

そのため、担任だけで子どもを支援するのではなく、他の教職員の皆さんやスクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーなどの関係諸機関とも連携しながら、子どもの細かな変化を見逃さず、支えていただければと思います。

**(教育部長)** ありがとうございます。以上をもちまして定例教育委員会を閉じます。

**(一同)** ありがとうございました。

令和4年 月 日  
署名

.....

.....

.....

.....

.....

作成者 岩田 圭司